Webアクセシビリティ検証サービスのご提案

－2024年4月施行「改正障害者差別解消法」への対応

便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

株式会社ブロードバンドセキュリティ

https://www.bbsec.co.jp/

Ⓒ2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

Contents

1.ウェブアクセシビリティとは？なぜ取り組むべきのか？

2.改正障害者差別解消法とウェブアクセシビリティの概要

3. 具体的対応方法のベストプラクティス

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

ウェブアクセシビリティとは？なぜ取り組むべきのか？

「○○できない」を「○○できる」、「○○しづらい」を「○○しやすい」にするのがアクセシビリティです。

視覚　**聴覚**　**運動**　**理解度**

ウェブアクセシビリティに取り組むことにより、
全盲又はロービジョン、ろう又は難聴、運動制限、発話困難、
光感受性発作及びこれらの組合せ、並びに学習障害及び認知限界への一部の適応を含んだ、
様々な障がいのある人に対して、
コンテンツをアクセシブルにすることができる。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

どのような人々が対象となるか？

障がい者の方のインターネット利用率は高い。高齢者の方や一時的にインターネット利用しづらくなる人も含めると配慮は広範であるべき

障がいの種類	人数	ネット利用率	配慮すべき事項
視覚障害	321,000人	91.7%	画面読み上げ、点字ディスプレイ、文字拡大、色反転
聴覚・言語障害	341,000人	93.4%	字幕、音声文字起こしソフト
肢体不自由	1,931,000人	82.7%	代替デバイス

※その他、高齢者、弱視、発達障害の方にも対応すべき。**日本人男性の5%には色覚特性**あり。

（令和5年 「障がい者白書」内閣府）
（平成28年 「生活のしづらさなどに関する調査」厚生労働省）
（平成24年 「障がいのある方々のインターネット等の利用に関する調査研究」総務省）

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

一時的な障害への対応もアクセシビリティ

その瞬間は継続する障害と変わらない。一般的なユーザーも下記のような状況になる可能性を考慮する。

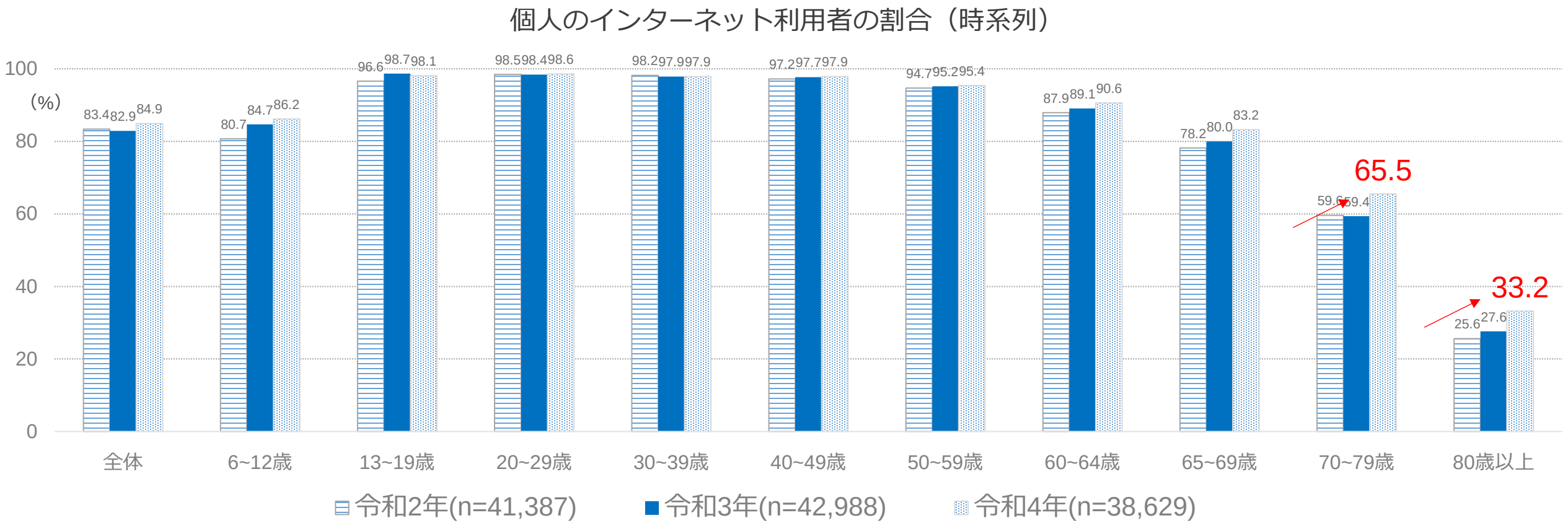
視覚障害	✓ メガネが壊れた、まわりが暗い、サングラスをしている
聴覚障害	✓ オフィス、電車内、カフェの中
運動障害	✓ 骨折、けが、腱鞘炎
認知障害（理解度）	✓ 徹夜のあと、酔っ払っている、言語の違い

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

高齢者のインターネット利用

高齢者のネット利用は年々増えている。70代のインターネット利用率65.5%、80歳以上でも33.2%が利用



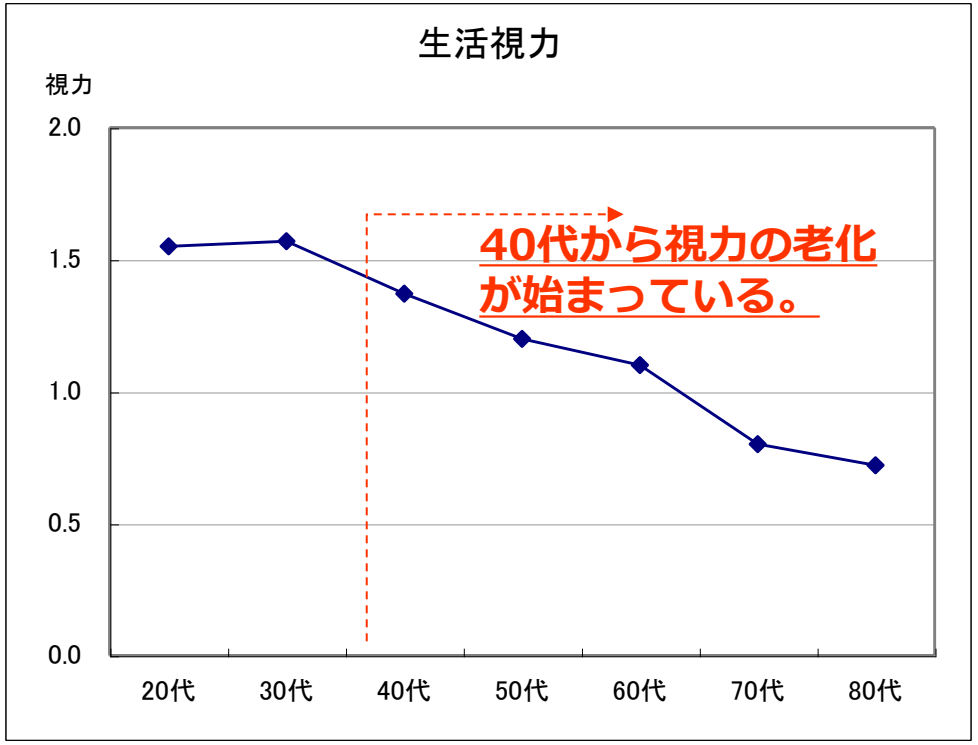
※「無回答」を除いて集計
（令和4年 総務省「通信利用動向調査」）

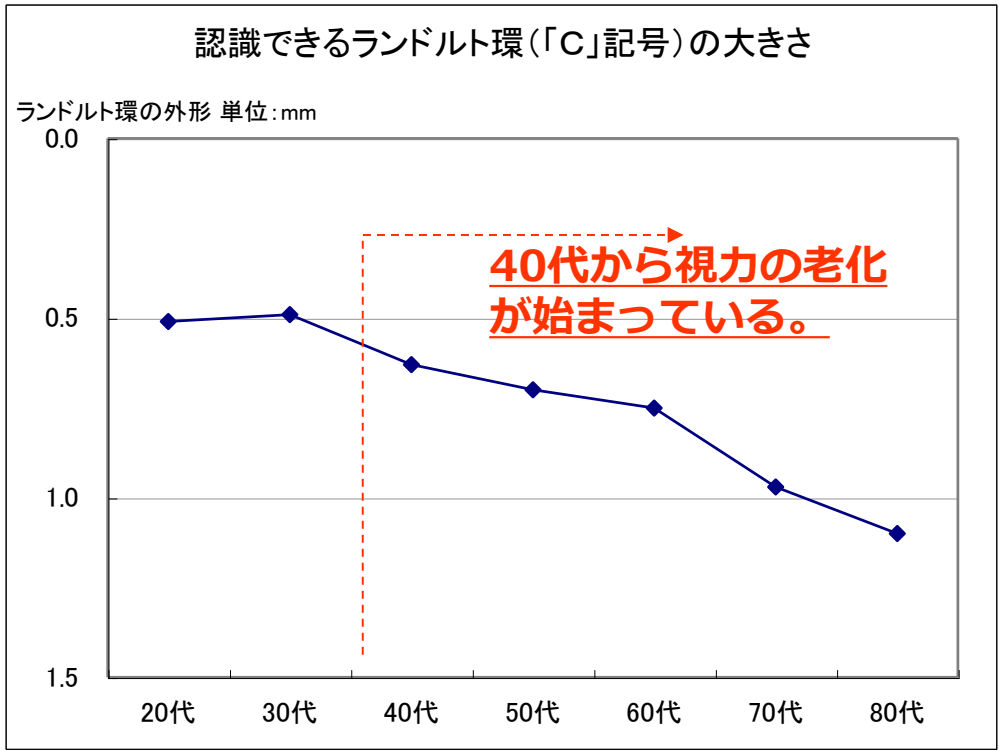
©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

老化に伴う視力の衰え

視力は40代から老化。文字の大きさには十分な配慮が必要
文字色と背景色の色相差も見え方を左右する大きな要因となる
主要ユーザー層が40代以上の場合は特に注意





※オフィスでの一般的な明るさ（300LX）下における高輝度タイプ液晶の一般的な明るさ（100cd/m2）での生活視力テスト
社団法人人間生活工学研究センター 調べ

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

Contents

1.ウェブアクセシビリティとは？なぜ取り組むべきのか？

2.改正障害者差別解消法とウェブアクセシビリティの概要

3. 具体的対応方法のベストプラクティス

ⓒ2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

改正障害者差別解消法

2024年4月から民間企業においても障害者への「合理的配慮」が法律で義務化されました。

行政機関・地方公共団体等

法的義務

障害者に対し、合理的配慮を行わなければなりません。

障害者からの要請に対し、その実施に伴う負担が過重でないときに、
社会的なバリアを取り除くために必要かつ合理的な配慮を講ずること。

民間事業者

努力義務

障害者に対し、合理的配慮を行うよう努めなければなりません。

▶ 法改正

法的義務

障害者に対し、合理的配慮を行わなければなりません。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

合理的配慮と環境の整備

特定の障害者に向けた「合理的配慮」と不特定多数の障害者に向けた「環境の整備」を相互に関連付けて対応することが重要です。

法的義務

合理的配慮

環境の整備を基礎として、**特定の障害者に対して**、個別の状況に応じて講じられる措置。

例）障害者にとってオンライン申込が利用しづらいものとなっているとき、求めに応じて電話や電子メールでの対応を行う。

努力義務

環境の整備

不特定多数の障害者向けに事前的改善措置を行うもの。

例）障害者がオンライン申込の際に不便を感じることのないようウェブサイトの改良を行う。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

合理的配慮と環境の整備

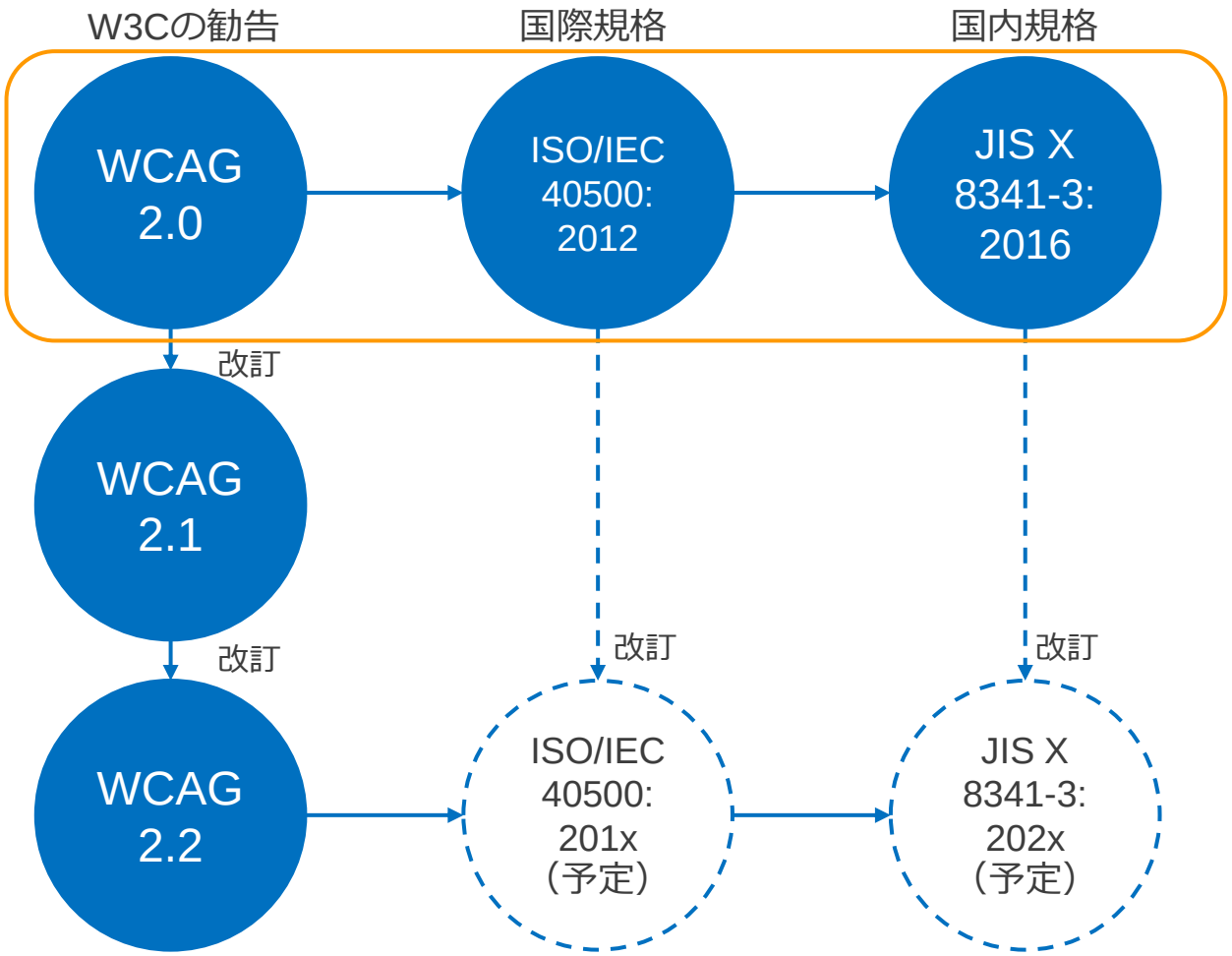
環境の整備がされていない場合は、法的義務である合理的配慮が必要です。対応できない場合は法律違反となります。

合理的配慮	環境の整備
視覚障害者から資料が見たいと言われたときに、掲載されている**自社ホームページを案内**した。	視覚障害者にとって**使いやすいホームページに再構成**した。
視覚障害者からPDFファイルが読み取れないと言われたため、**テキストに変換してお知らせ**した。	テキスト読み取りのできないPDFファイルを**テキスト読み取りできるよう**にした。
オンライン講座に参加した聴覚障害者に**要約筆記者を配置**した。	オンライン講座をオンデマンド配信できるようにし、**字幕を表示**できる機能を追加した。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

WCAG2.2が勧告済。タッチデバイス、弱視、認知・学習障害へも対応



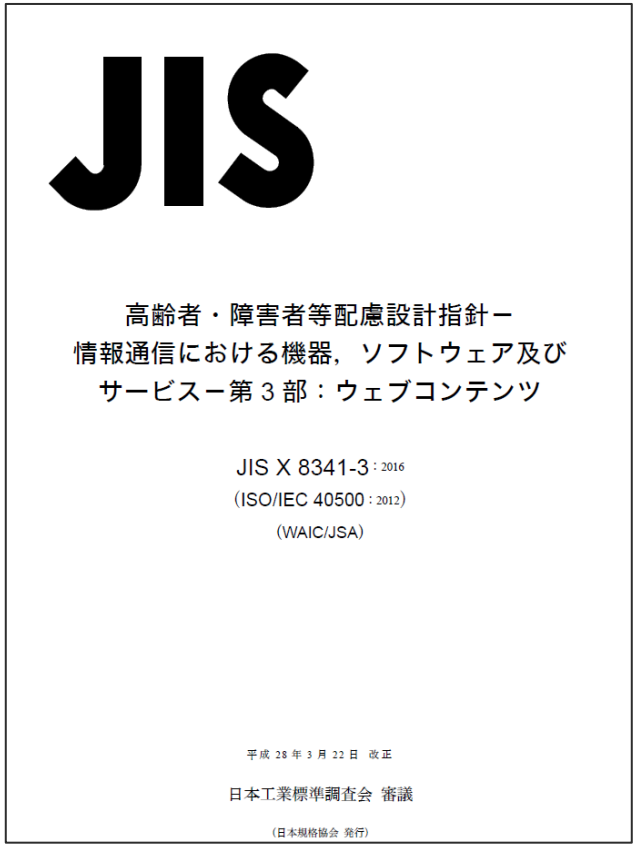
- ▶現行の規格は国際・国内ともにWCAG2.0をベースにしている。
- ▶WCAG2.1は2018年に勧告済みだが、既にWCAG2.2の勧告に向けて動いているため、国際・国内ともに2.2をベースにした規格の発行予定。
- ▶WCAG2.2は2023年10月2日に勧告となった。
  https://www.w3.org/TR/WCAG22/
- ▶適合レベルが定められており、レベルA、レベルAA、レベルAAAの三段階が存在。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

WCAG2.0 – JIS X 8341-3:2016

国内のウェブ担当者としては、高齢者・障害者対応としてJISに準拠するのが改正障害者差別解消法への標準的な対応となります。


JIS

高齢者・障害者等配慮設計指針－
情報通信における機器，ソフトウェア及び
サービス－第 3 部：ウェブコンテンツ

JIS X 8341-3：2016
（ISO/IEC 40500：2012）
（WAIC/JSA）

平成 28 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

- 『高齢者・障害者等配慮設計指針－情報通信における機器，ソフトウェア及びサービス－第3部：ウェブコンテンツ』
- 1.知覚可能、2.操作可能、3.理解可能、4.堅牢の4つの原則
- 達成基準をA（最低レベル）、AA、AAA（最高レベル）の3つに分けている

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

（ご参考）世界の状況

世界では日本に先駆けてウェブアクセシビリティ制度を強化。海外のユーザーが多いサイトでは配慮が必要。

1 アメリカではアクセシビリティ関連の訴訟が頻発（1日10件）

2019年ドミノピザのECサイトがアクセシブルでないとユーザーから訴訟となり連邦最高裁でユーザー側が勝訴。2021年にはデジタルアクセシビリティに関する訴訟は4,000件超。
航空会社のウェブサイトにはWCAG2.0レベルAA準拠が求められている（航空アクセス法）。

2 カナダ（オンタリオ州）は事業者にWCAG2.0レベルAA準拠強制

事業者（従業員が50名以上）2014年1月以降、WCAG 2.0のレベルAに準拠。2021年迄に全ウェブページをWCAG 2.0のレベルAAに準拠するよう要請。

3 オーストラリアはシドニーオリンピックで失敗

2009年11月に公的ウェブサイトにアクセシビリティ確保を要請（WCAG2.0レベルAA準拠）。
シドニーオリンピックのウェブサイトでアクセシビリティが整備されておらず、失敗したことが起因。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

Contents

1.ウェブアクセシビリティとは？なぜ取り組むべきのか？

2.改正障害者差別解消法とウェブアクセシビリティの概要

3. 具体的対応方法のベストプラクティス

ⓒ2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

適合レベル

JIS X 8341-3:2016（WCAG2.0）の適合レベルは3段階。レベルAは必須で対応したうえで、レベルAAを目指すのがよい

※2024年からWCAG2.1、2.2対応を目標とする企業が増加中

適合レベル	定義	解説	WCAG2.0	WCAG2.1	WCAG2.2
A	最低レベル	最低限の基準。どのようなサイトであっても満たすべき。	25項目	30項目	31項目
AA	–	望ましい基準。環境によっては対応が難しい場合もあり。	13項目	20項目	24項目
AAA	最高レベル	発展的な基準。達成困難なものも多い。	23項目	28項目	31項目
		合計	61項目	78項目	86項目

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

【意訳】ウェブアクセシビリティ全基準一覧－レベルA

レベルAは最重要。特に1.4.2、2.1.2、2.2.2、2.3.1は重要です。

1. 知覚可能	
1.1.1	代替テキストを入れる
1.2.1	動画・音声と同じ内容を書き起こす
1.2.2	音声には字幕を入れる
1.2.3	映像には音声か字幕入れる
1.3.1	関係性はプログラムで示す
1.3.2	意味ある順序でプログラムする
1.3.3	感覚だけで説明しない
1.4.1	色だけで説明しない
1.4.2	**自動再生には停止をつける**

2. 操作可能	
2.1.1	全てキーボードで操作可能
2.1.2	**キーボードでフォーカスを外せる**
2.2.1	制限時間を延長・調整・解除できる
2.2.2	**自動で動くものは停止可能**
2.3.1	**1秒に3回光ってはいけないまたは閾値以下**
2.4.1	メニューのスキップリンク
2.4.2	ページの主題をtitleにする
2.4.3	意味ある順序でフォーカス
2.4.4	曖昧なリンク名称を避ける

3. 理解可能	
3.1.1	デフォルトの言語を設定
3.2.1	フォーカスで実行しない
3.2.2	予測不能な動きをさせない
3.3.1	エラーは場所と内容を説明
3.3.2	入力項目には説明と例を入れる

4. 堅牢	
4.1.1	正しい構文で書く
4.1.2	標準的なHTMLコントロールだけを用いる

※ここに記載したのは基準の概略文です。実際には正式な対応基準を確認してください。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

【意訳】ウェブアクセシビリティ全基準一覧－レベルAA

レベルAAは官公庁・自治体サイトの必須達成基準。民間企業も対応することが推奨されます。

1. 知覚可能	
1.2.4	ライブ音声に字幕を入れる
1.2.5	収録済映像に音声解説入れる
1.4.3	文字と背景のコントラスト4.5:1以上, 大きな文字3:1以上
1.4.4	文字サイズ200%まで変更可
1.4.5	テキスト化可能な文字は画像にしない

2. 操作可能	
2.4.5	目的のページには複数の手段で到達できる
2.4.6	見出しは主題を表している
2.4.7	キーボード操作でフォーカス箇所がわかる

3. 理解可能	
3.1.2	部分的に多言語を用いる場合は要素にlang属性を入れる
3.2.3	ナビゲーションメニューはサイト内で統一する
3.2.4	同じ機能を持つコンポーネントはサイト内で統一する
3.3.3	入力エラーがあった場合修正方法を提示する
3.3.4	法的・金銭的取引では「取消」「チェック」「確認」のいずれかの機能をつける

※ここに記載したのは基準の概略文です。実際には正式な対応基準を確認してください。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

【意訳】ウェブアクセシビリティ全基準一覧－レベルAAA

レベルAAAは全達成は難しいがユーザビリティ観点では示唆に富みます。

1. 知覚可能	
1.2.6	収録済音声に手話を入れる
1.2.7	収録済映像に拡張音声ガイドを入れる
1.2.8	時間で変化する収録済映像にテキストで情報を入れる
1.2.9	時間で変化するライブ音声にテキストで情報を入れる
1.4.6	文字と背景のコントラスト7:1以上, 大きな文字4.5:1以上
1.4.7	背景音は使用しないか消去可能か20デシベルより低くする
1.4.8	a. 文字・背景色カスタマイズ
1.4.9	文字画像は装飾のみまたは不可欠

2. 操作可能	
2.1.3	全て例外なくキーボード操作
2.2.3	制限時間を不可欠としない
2.2.4	割り込みを中断・延期できる
2.2.5	セッション切れ後の再認証でデータを失わない
2.3.2	1秒に3回光ってはいけない
2.4.8	現在位置を明確にする
2.4.9	リンク名称を明確にする
2.4.10	セクション見出しで整理する

3. 理解可能	
3.1.3	理解しづらい用語は解説する
3.1.4	略語には正式名称を示す
3.1.5	中等教育レベルで読解力で読めるようにする
3.1.6	発音で意味が変わるなら読み仮名を示す
3.2.5	変化は利用者が要求する
3.3.5	状況に応じたヘルプを入れる
3.3.6	情報送信では、取消、チェック、確認のいずれかをつける

1.4.8 b. 1行全角40文字、1.4.8 c. テキストは両端揃えしない

1.4.8 d. 行間は1.5倍、段落はさらにその1.5倍

1.4.8 e.ブラウザで文字サイズ200%まで拡大可。全画面表示で横スクロールなし

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

利用者に提示される全ての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストが提供されている

レベルA

```
<div class="bnr-area">
<a href="https://www.fsa.go.jp/sesc/watch/index.html" rel="external"><img
src=/tvdivq0000009bu6/sesc_banner.jpg /></a>
</div>
<div class="bnr-area">
<a href="https://www.meti.go.jp/intro/consult/consult_01.html#p06"
rel="external"><img src=/tvdivq0000009bu6/uketuke.png /></a>
</div>
```

リンク画像の一部にaltが設定されていない。
普段のサイト運用時に検証項目に入れないと漏れるケースが発生する

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

1.2.3：音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）

同期したメディアに含まれている収録済みの映像コンテンツに対して、時間依存メディアに対する代替又は音声解説が提供されている。 レベルA

音声を聞くことのできないユーザーへ向けて、音声の概要や目的を示した解説を提供することが必要。

また、音声コンテンツがテキストの代替メディアである場合は、代替メディアであることを明確にラベル付けする。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

1.3.3：感覚的な特徴

コンテンツを理解し操作するための説明は、形、大きさ、視覚的な位置、方向、又は音のような、構成要素がもつ感覚的な特徴だけに依存していない

レベルA

操作についての説明がありません。

入力操作を促すページにおいては、例えば、「ページ下部の[確認ページへ進む]のを押してください。」といった案内テキストが必要。

理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝えることが必要。

操作の説明に、形・大きさ・配置・方向・音の要素が2つ以上含まれていること。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

1.4.1：色の使用

色が、情報を伝える、動作を示す、反応を促す、又は視覚的な要素を判別するための唯一の視覚的手段になっていない

レベルA

ローカルメニューの現在位置表示が反転表示（色のみによる識別）となっている。
※グローバルメニューは現在位置表示がない。
※ページ遷移後の現在位置表示そのものが実装されていないため、色＋形（アンダーバー、太字、矢印アイコンなど）による表現が望ましい。

色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にすることが必要。
また、テキストの色の違いで情報を伝える際は、視覚的な手がかりを補足。

画像においても、色とパターンを併用する、色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にするといった配慮が必要。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

テキスト及び文字画像の視覚的提示には、少なくとも4.5:1 のコントラスト比がある

レベルAA

本文中の8.1%のテキストについて、背景色に対するコントラストが十分に取られていなかった。コントラストが確保されていない場合、背景の色と本文とが重なって見えるため、ユーザーは見疲れてしまう。

テキストが薄すぎてコントラストが確保されていない場合、背景の色と本文とが重なって見えるため、色覚異常のユーザーや弱視のユーザーにとって問題となる可能性がある。

通常のテキストの場合は少なくとも4.5：1、大きなテキスト（18pt以上、太字では14pt以上）の場合は少なくとも3：1の色のコントラスト比が必要

「4.3:1」のコントラストです。AA基準では、「通常サイズの文字」は「4.5:1」以上が必要です。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップするメカニズムが利用できる

レベルA

このページではユーザーが冒頭から本文へ到達するために、41回のキー操作をしなければならない。また、この操作をショートカットする手段が設けられていない。

繰り返されるブロックをスキップするリンクを作成する。

ターゲットにもよるが、パンくずリストまでスキップしてしまわないよう注意する。

または、スキップ可能な方法で繰り返されるブロックをグループ化する。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

2.4.4：リンクの目的（コンテキスト内）

それぞれのリンクの目的が、リンクのテキスト単独で、又はリンクのテキストとプログラムによる解釈が可能なリンクのコンテキストから判断できる

レベルA

リンクテキストに指示後だけ「詳しくはこちら」を使ってはならない。

指示語だけのテキストを使うと、ユーザーは文脈を辿り直さなければ、参照先の内容を理解できない。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、ラベル又は説明文が提供されている

レベルA

```
<form name="SS_searchForm" id="SS_searchForm"
action="https://ent.syncsearch.jp/search" method="get"
enctype="application/x-www-form-urlencoded">
        <input type="hidden" name="site" value="3BR87SUY" />
        <input type="hidden" name="charset" value="UTF-8" />
        <input type="hidden" name="group" value="1" />
        <input type="hidden" name="design" value="1" />
        <input type="text" name="query" value=""
id="SS_searchQuery" maxlength="100" />
        <input type="submit" name="submit" value=""
id="SS_searchSubmit" />
      </form>
```

「query」および「submit」には、label要素による説明が設定されていない。コンポーネントそれぞれが「キーワード入力」「検索」ということが識別できる必要がある。（HTMLのlabel要素による必要はない）
特に3rdベンダーツールの場合に多発する。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

入力エラーが自動的に検出され、修正方法を提案できる場合、その提案が利用者に提示される

レベルAA

・エラー内容は入力箇所に近接して表示されていない
・必須であることが「必須」ではなく「※」で表現されている。
・エラーの修正内容が具体的に指示されていない。入力規則以外の文字が入ってもメッセージが表示されない。（半角数字、10文字以上、全角カタカナ、、等）

内容を適切にフィードバックすることが必要。
・エラー箇所（項目名、位置）
・エラーの内容（未入力であること、入力規則が違うこと、具体的に修正してほしい内容等、を具体的に表示する。）

例）ｘｘエラーです。●を△に修正してください
例）ｘｘは半角英数字で入力してください

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

3種類の記憶

ウェブ設計者は、利用者の感覚記憶や短期記憶を意識すべきです。長期記憶に定着させるためには、繰り返しの表現が必要です。

記憶	感覚記憶	目や耳からの情報。 数秒で消える。
	短期記憶	パターンを認識して必要なものを記憶。 20秒～1分で消える。
	長期記憶	複数回の繰り返しにより記憶。 永続的な保存。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

まとめ

ウェブアクセシビリティへの配慮は現代の企業として喫緊の課題

1. 法改正で義務化
2. アクセシビリティに配慮すべき対象者は多い
3. まずはJIS基準AAの達成を目指す
4. ウェブサイトを見直すよい機会に

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

アクセシビリティ検証の進め方

当社のアクセシビリティ検証サービスの流れは下記の通りです。自社で行う場合もこの流れに沿うのが基本となります。

約4週間 → 御社のフォローアップ期間に応じて決定

1.検証項目および対象ページの決定

- 対象ページの決定
- 対応レベルの決定
- コンサルティングサービス、ガイドライン策定サポートサービスの利用有無の決定

2.初回診断（クロール型・目視型）

- クロール/目視検証
- 調査結果一覧表作成
- 調査項目別/ページ別の課題レポート作成

レポートご納品

3.サイト改修

- 課題箇所の改修方針整理
- プログラム修正

4.再診断・改善コンサルティング

- 再診断実施
- 修正対応箇所のソースコードレベルでのサポート
- 合格するまで何度でも再診断可

再診断結果ご納品

5.ガイドライン策定

- Webサイトに掲載する「アクセシビリティ対応方針」等への掲載方法のサポート

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

診断結果一覧表では基準ごとに診断項目とページごとの達成率を掲載

No	細分箇条	題名	レベル	クローリング	概要	項目ごとの合格率	/	/ir
							71.1%	73.7%
1	1.1.1	**非テキストコンテンツ**	A	○	アイコン、写真、バナー、グ	56.3%	合格	合格
2	1.2.1	**音声だけ及び映像だけ (収録済)**	A	目視	アップロードされた音声や映像	93.8%	該当なし	該当なし
3	1.2.2	**キャプション (収録済)**	A	目視	音声を聞くことのできないユー	97.9%	該当なし	該当なし
4	1.2.3	**音声解説、又はメディアに対する代替コンテ**	A	目視	映像を見ることのできないユー	93.8%	該当なし	該当なし
5	1.3.1	**情報及び関係性**	A	○	ウェブページ内に、見出し、箇	6.3%	不合格	不合格
6	1.3.2	**意味のある順序**	A	○	操作の案内や情報の提供を行う	18.8%	不合格	不合格
7	1.3.3	**感覚的な特徴**	A	目視	操作の説明を理解する前提とし	91.7%	該当なし	該当なし
8	1.4.1	**色の使用**	A	目視	色の違いが識別できなくてもコ	54.2%	合格	不合格
9	1.4.2	**音声の制御**	A	目視	ウェブページを開いた直後、音	100.0%	合格	合格
10	2.1.1	**キーボード**	A	○	キーボードしか利用できない	95.8%	不合格	合格
11	2.1.2	**キーボードトラップなし**	A	○	フォーカスの操作によりキー	93.8%	不合格	合格
12	2.2.1	**タイミング調整可能**	A	○	時間制限を課すウェブサイトで	97.9%	合格	不合格

対象ページが列で続く

ガイドラインの細分箇条に沿った調査を実施し、対象ページがガイドラインの基準に達しているか否かを判定。

それぞれの調査項目についての結果をレポート。
各項目ごとの達成状況を合格率（達成ページ数/全頁）で把握可能。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

基準ごとにHTMLソースレベルで不合格箇所をリストアップ

1.1.1 非テキストコンテンツ

[不合格]
詳細を閉じる2個の画像に、代替えテキストの設定されていないものがあった。評価した画像17個の11.8%以上を占めている。
58行目：/common/images/lp/logo_gomez.svg
59行目：/.assets/head_txt_04_bbsec.gif

16個の画像で、妥当とは考えられないテキストでの説明が与えられていた。
58行目：画像「/common/images/lp/logo_gomez.svg」の説明が無い。
59行目：画像「/.assets/head_txt_04_bbsec.gif」の説明が無い。
120行目：画像の説明が十分ではない「品質管理」。
134行目：ロゴである場合には「ロゴ」と付けくわえる。
148行目：画像の説明が十分ではない「アクセシビリティ」。
161行目：画像の説明が十分ではない「データプライバシー」。
242行目：画像の説明が十分ではない「写真：品質管理」。
260行目：画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「写真：Accessibility」
278行目：画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「写真：SEO / Response」
316行目：画像の説明が十分ではない「microsoft logo」。
317行目：画像の説明が十分ではない「Allianz logo」。
318行目：画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「Oxford University Press logo」
319行目：画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「UC Berkeley logo」
320行目：画像の説明が十分ではない「Renault logo」。
322行目：画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「Boston Scientific logo」
390行目：画像の説明が十分ではない「Gomez」。

1つの画像の代替えテキストが重複していた。
59行目：58行目の画像と同じ代替えテキスト「」

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

改善方針の策定

当社の検証サービスでは課題のある画面ごとに模範的な改修方法を提示

Gómez™ CONSULTING SERVICES

https://waic.jp/translations/WCAG21/Understanding/non-text-content.html

1.1.1 非テキストコンテンツ　ー　テキストによる代替　レベルA　7.7%

ユーザーに示されるすべてのテキスト以外のコンテンツでは、同等の目的を果たす代替テキストを設定することが必要です。
アイコン、写真、バナー、グラフ、ボタンなど代替テキストを設定する必要があります。

1個の画像に、代替えテキストの設定されていないものがあった。他の画像に代替えテキストを設けているのなら、ぜひこれらの画像にも説明を付けることを推奨する。

997行目：[redacted] jpg

Gómez™ CONSULTING SERVICES

「1.1.1 非テキストコンテンツ　ー　テキストによる代替」の基本ルール

①すべての画像をalt属性のテキストに差し替えてもページ全体の意味が変わらず伝わること

②画像が意味のある画像なのか、装飾目的なのかを区別
→意味のある画像は代替えテキストを設置
→画像の内容を表すテキストを設定（「画像」や「ファイル名」はNG）
→画像の周囲にあるテキスト情報との重複はなるべく避ける。

→アイコンなど装飾目的の画像は空のaltを設置
→見出し画像（意味のない画像）とテキストリンクが併設されている場合は冗長性を避けるために空のaltを設置
→ロゴ画像は会社名やサービス名を記述

③代替えテキストが長い時はテキストが短くなるようにする
→複数枚の画像に分割する
→代替えテキストを画像の外に記述
→代替えコンテンツ（テキスト）を掲載

※スクリーンリーダーの可読性を考慮して、代替テキストは長くても80～100文字程度に収める

④画像の種類を冒頭に入れる
→イラスト、写真、図、グラフ、など何の画像か表現する

⑤説明画像（図）
→内容についてalt属性に代替テキストを設置するか、画像の外で内容を説明することが必要。

⑥文字画像
画像の文字と同じ内容を代替えテキストとして付与　※文字は画像ではなくテキスト情報で表現する

Gómez™ CONSULTING SERVICES

https://waic.jp/translations/WCAG21/Understanding/bypass-blocks.html

2.4.1　ブロックスキップ　レベルA　100%

不要なコンテンツを省略できる仕組みを駆使して、ユーザーが主たるコンテンツを参照することを容易にすることが必要です。

main タグが使用されており本文への移動がおこなえる状態になっているが、最初に登場する見出しは[h2. [redacted] が最初に出てくる状態。
「本文セクションの冒頭へアクセス」ためにはh1タグの設置が有効。

※視覚障碍当事者ユーザー間では、「見出し 単位で移動できた方がページ全体の把握が容易」という意見が根強い。

以下のいずれかを用いて、繰り返されるブロックをスキップ可能にする。

1) 以下のいずれかを用いて、繰り返されるブロックをスキップするリンクを作成する

a) メインコンテンツへ直接移動するリンクを各ページの先頭に追加する
b) 繰り返しているコンテンツのブロックの開始位置に、そのブロックの終了位置へのリンクを追加する
c) ページの先頭に、コンテンツの各エリアへのリンクを追加する

2) 以下のいずれかを用いて、スキップ可能な方法で繰り返されるブロックをグループ化する

a) コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する
b) 構造を示す要素を用いて、リンクをグループ化する
c) frame要素を用いて繰り返しているブロックをグループ化し、frame要素にはtitle属性を付与する
d) 展開可能及び折り畳み可能なメニューを用いてコンテンツのブロックをバイパスする

施策例：
・main タグ、または role="main" を用いてメインコンテンツを明示
main 要素の直下にパンくずナビゲーションが設置されている場合、本文の領域がすぐに見つからない。（パンくずナビゲーションは、一般的には「共通のナビゲーション機能」に分類されるためHeader タグ内や、グローバルナビゲーションのある領域付近に移動して頂くことが望ましい）

・見出しタグ (h1, h2 等)を適切に設定（h1はロゴではなく本文領域の冒頭部であること）
※スクリーンリーダー利用者が本文を検索する操作として
見出しタグ (h1, h2 など) を用いるケースの方が広く普及しているため配慮が必要。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

アクセシビリティガイドラインの策定も当社でサポート

掲載項目	掲載内容
基本方針	アクセシビリティの目標を掲げ、達成に向けて努力することに関する宣言、意義の説明。
目標と適合レベル	「JIS X 8341-3:2016の適合レベルAAに準拠、一部AAAに準拠」など、目標とする基準とレベルの定義を記述する。
対象範囲	試験を行うドメイン、ページリストなどを掲載。
配慮している項目（検査前の場合）	初期として配慮している項目を記載。
達成基準リスト（検査後の場合）	検査を行なった際に、全リストを公開。（達成基準リストを作成し、掲載するイメージ）
試験実施期間と試験結果（※検査後の場合）	（試験結果ページへのリンク）1年に1回など定期チェックを実施したり、新しいコンテンツを作成した場合に追加掲載を行う。
更新日	ページの更新をした日付を掲載する。他社は古いままとなっていたり、更新日付がない場合もあるが、新しい日付で「更新している」ことを知らせるために必要。「更新」することも重要。
お問い合わせ	掲載可能な場合。サイト全体の問い合わせページへのリンクでも可。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

アクセシビリティ検証サービス価格表

当社のアクセシビリティ検証サービスは柔軟な価格体系でご提供します。

項目	内容	価格（税別）
1. 初回診断 （クロール・目視）	クロール調査・目視調査によるアクセシビリティ診断 適合レベル：AA	**70万円**／30ページ ※1ページあたり1万円追加
2. 改善コンサルティング・再診断	検証結果の修正対応に関するサポート・コンサル 合格するまで何度でも何ページでも再診断可 ※初回・再診断の対象ページは1ページあたり2万円で承ります。 （新規のページは1ページあたり3万円で承ります。）	**10万円**／月額 ＋ **2万円**／ページ
3. ガイドライン策定サポート	Webサイトに掲載する「アクセシビリティ対応方針」の内容、および検査結果の掲載方法に関するサポート	**30万円**

※初回診断はサイトごとのお見積りになります。
※改善コンサルティング・再診断は、期間ではなくページ単価 x 数量でのご契約も可能です。
※AAA（トリプルA）の診断については別途お見積りになります。
※スマートフォンページを対象とする場合はご相談ください。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

（ご参考）初回診断・コンサルティング・再診断価格表

WCAGバージョン、適合レベルごとの価格表

WCAG	2.0 A	2.1 A	2.2 A	👑 2.0 AA	2.1 AA	2.2 AA
項目数	25	30	31	38	50	55
1. 初回診断	**50万円**／30ページ ※1ページあたり**8千円**追加	**60万円**／30ページ ※1ページあたり**1万円**追加	**60万円**／30ページ ※1ページあたり**1万円**追加	**70万円**／30ページ ※1ページあたり**1万円**追加	**100万円**／30ページ ※1ページあたり**1.2万円**追加	**120万円**／30ページ ※1ページあたり**1.5万円**追加
2. 改善コンサルティング・再診断	**10万円**／月額 **1.5万円**／1ページ	**10万円**／月額 **1.5万円**／1ページ	**10万円**／月額 **1.5万円**／1ページ	**10万円**／月額 **2万円**／1ページ	**10万円**／月額 **2.5万円**／1ページ	**10万円**／月額 **3万円**／1ページ

例：30ページ3か月で90万円
（月額30万円）

※初回診断はサイトごとのお見積りになります。
※AAA（トリプルA）の診断については別途お見積りになります。

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

よくあるご質問

ご質問	ご回答
1.初回診断と再診断は何が違うのでしょうか？	初回診断は、ご指定のページについて要改善箇所をご報告します。（レポート＋一覧表＋詳細レポートをご納品） 再診断は、初回診断後に課題が出てきますので、その課題を修正したあとに改めて診断して合否をお伝えいたします。（対象ページは初回診断をしたページ）
2.再診断の回数に制限はありますか？	「適合（合格）になるまで何度でも診断可能」です。
3.改善コンサルティングはどのような内容ですか？	初回診断レポートではNG例、一般的な対処方法をご提示いたします。 改善コンサルティングをご契約いただきますと、個別のページの修正方法のお問い合わせに対応します。（例：制作会社からの修正方法の提案が正しいかどうか確認する）
4.何ページをチェックするのが適切なのでしょうか？	すべてのページを診断・改修しなくても、「●●ページを●●基準で対応しています」といった記載をアクセシビリティ対応方針（ガイドライン）に記載することができます。 WAICも適合試験について、100ページを超えるサイトについては、例えばランダムに選択した25ページと、サイトを代表するページを選択した15ページをもって、サイト全体の検査とみなして良い、とあります。 結果として「最低のラインが30ページ程度」になることが多いため、初回診断のページ数を30にしております。※ページの追加も可能です。
5.チェックするページの選定方法、考え方について教えてください？	考え方としては下記をご提示しております。 ・トップページ、カテゴリトップなど、アクセスが多いページを対象とする ・CMS等のテンプレートが異なるページはそれぞれ対象とする ・問い合わせフォームなどユーザーのアクションが発生するページを対象とする
6.英語ページ、スマートフォン用ページは対象にすべきでしょうか？	英語と日本語で同じテンプレートを使用している場合はどちらか一方を対象とすることでコストを抑えることができます。 （スマートフォン用ページも同様）

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

実績・事例（抜粋）

当社のWebアクセシビリティ検証サービスは、上場企業様をはじめ多数の企業様からご依頼を頂戴しております。

銀行	小売（ホールディングス）	電気機器メーカー
・初回診断：40ページ ・コンサルティング：実装→再診断 ※1年間 ・ガイドライン策定	・初回診断：40ページ ・コンサルティング：実装→再診断 ※1年間 ・ガイドライン策定	・初回診断：210ページ ・コンサルティング：実装→再診断 ※1年間 ・ガイドライン策定

旅行会社	食品メーカー	保険
・初回診断：50ページ ・コンサルティング：実装→再診断 ※6か月間 ・ガイドライン策定	・初回診断：30ページ ・コンサルティング：実装→再診断 ※3か月間 ・ガイドライン策定	・初回診断： 60ページ ・コンサルティング：実装→再診断 ※3か月間 ・ガイドライン策定

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

会社概要

Gómez™

- **UI/UX視点での客観的なサイトランキングを毎年公表しています**
- **年間100件以上のWebコンサル・構築サービスをご提供しています**
- **日経225銘柄の約40%と取引経験があり、取引先の95%が上場企業です**

IT総合サポートサービス

2001年創業
2006年株式上場
2021年BBSecへ事業承継

1.サイト評価レポート
ゴメスのサイト評価基準に沿って、現サイトの課題点と改善施策を提案

2.ユーザビリティテスト
一般消費者にリモートでサイトを操作してもらいUI/UX課題を抽出

3.マーケティングデータベース
経営判断の参考となる業界や消費者のリサーチデータを蓄積・クラウド提供

4.サイト設計・要件定義
リニューアル時等の基本構造設計と主要画面のレイアウト設計・サポート

5.Webサイト制作サポート
顧客業界別の専門ディレクターによるWebサイト制作、サイト制作支援

6.SEOコンサルティング
GoogleAnalytics,GSC,GTA,ahrefsなどのツールを使用したSEOコンサルティング

7.パフォーマンスコンサルティング
可用性のためのアプリケーション監視、パフォーマンス改善も実施

8.アクセシビリティ検証
JIS8341:2016（WCAG2.0、WCAG2.2の基準に沿った検査実施からコンサルティングも実施

9.アドバイザリー
戦略策定から設計・デザイン・運用・集客支援・PDCA等、継続的コンサルティングを実施

BBSec BroadBand Security, Inc.

セキュリティサービス

2000年創業
2018年株式上場

コンサルティング	開発・サポート	運用
• リスクアセスメント • PCI-DSS準拠支援 • ISO27001等認証取得支援 • CSIRT構築支援	• アプリケーション脆弱性診断 • ペネトレーションテスト • ソースコード診断 • クラウド設定診断	• 脆弱性診断ツール • 改ざん検知ツール • EDR・WAF・SIEM運用 • デジタルフォレンジック

株式会社ブロードバンドセキュリティ https://www.bbsec.co.jp/
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F
代表者 ： 代表取締役社長 滝澤 貴志
設立 ：2000年11月30日
資本金 ： 292百万円　　従業員数 ： 241名（2023年6月末現在）

ゴメス・コンサルティング本部 http://www.gomez.co.jp/
事業内容 ： Webサイト評価・分析・アドバイスサービス、サイト構築サービス
TEL： 03-5338-7436（部署直通）

©2025 BroadBand Security, Inc.

CONFIDENTIAL

BBSec
BroadBand Security, Inc.

Gómez®